

## 担い手確保に向けた既往の取組み状況

### (北陸地方整備局)

#### ○土木・建築系学生へのアプローチ

##### 1. 実習プログラムの充実

###### 1) 構内実習プログラムの実施

【事例①】建設会社と連携し、高校の文化祭で鋼矢板圧入工法を実演

###### 2) 現地実習プログラムの実施

【事例②】津波対策（海拔表示の設置）のための測量作業を協働して実施

###### 3) 現場見学会の工夫

【事例③】ブロック単位で直轄事務所（河川・道路・港湾）が連携した取組み

【事例④】“先輩（卒業生）”が働く道路工事現場を見学

【事例⑤】PTAや教員を対象にした現場見学会を開催

【事例⑥】女性技術者が活躍する現場見学会を開催

##### 2. 座学・講義等の充実

###### 1) 学校の講義（年間カリキュラムの一環）への講師派遣

【事例⑦】長岡技術科学大学の「建設デザイン」への非常勤講師の派遣

###### 2) インターンシップ

【事例⑧】土木・建築等の学生を対象に夏期実習生を受け入れ

H26：17名（計10事務所）

###### 3) 建設界が一体となった業務説明会の実施

【事例⑨】建設界（建設業協会、自治体、国）が一体となった業務説明会

#### ○上記以外の学生等へのアプローチの強化

##### 3. 父母・父兄が参加する現場見学会の開催

【事例⑩】「北陸地整がススめる！現場見学ガイド」の作成

【事例⑪】旅行会社が運営するインフラツアー（道路工事現場）への協力

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## (新潟県)

### 【新潟県における主な取組事例】

#### I 建設業の魅力・重要性の情報発信

##### <現場見学会・施設見学会>

今後の建設業を担う高校生を対象に協会等と連携して実施。

##### ○身近な社会資本の見学会

実施日：平成26年9月16日（火）

対象校：県立県央工業高等学校（2年生36名：都市防災19名/建築17名）

実施内容：山の下閘門排水機場の役割と重要性を説明し、信濃川と通船川の水位差を乗船体験。また、建設業の魅力と県の土木技術者の業務紹介。

##### ○雪国の道路を守る消融雪施設見学会

実施日：平成26年10月18日（土）予定

対象校：県立新潟工業高等学校（土木科1～3年生21名）

県立阿賀黎明高等学校（普通科2年生5名）

実施内容：融雪技術の変遷等を説明し、製品工場や消雪・地中熱井戸の掘削現場を見学。また、融雪実験など通じて建設業の魅力を伝える。

##### <情報発信>

##### ○かわら版の発行

地域の魅力や地域を支える建設業のスペシャリスト等を紹介し、地域住民の声を掲載（魚沼地域・月1回程度）

##### ○キャリア教育DVDの作成（建設編）

小中学生を対象に建設業で働く人々の思いややりがい伝える15分程度のDVDを作成。

#### II 入職と定着の促進

##### ○建設業入職・定着促進支援事業

事業目的：緊急雇用創出事業地域人づくり事業を活用し、建設業における入職及び定着の促進を図る。

事業内容：就職合同説明会の開催、若年建設業従事者に対する現場見学会の開催、資格取得のための技能講習の受講支援などを団体に委託する。

契約相手方：（一社）新潟県建設業協会

契約期間：平成26年7月22日～平成27年3月31日

契約金額：1,523万円

##### ○土木・建設基礎コースの開講

実施内容：県立テクノスクールにおいて、就職を希望する失業者等に対し、建設系の仕事に必要な訓練や技能講習及び特別教育等を行う。

実施期間：【第1回目】平成26年6月24日～平成26年7月31日

（新潟テクノスクール、10名）

【第2回目】平成26年10月15日～平成26年11月17日(予定)  
(魚沼テクノスクール、10名)

【第3回目】平成26年10月23日～平成26年12月22日(予定)  
(新潟テクノスクール、10名)

○ものづくり人材雇用育成事業

事業目的：緊急雇用創出事業地域人づくり事業を活用し、建設業の人材を確保・育成する。

事業内容：建設業の事業主に、失業者等を期間雇用し働いてもらいながら資格取得のための講習や訓練を行う業務を委託する。

契約相手方：県内建設業社23社（新規雇用者29人分）

対象経費：4か月分の賃金、通勤手当、共済費など

○業界団体と連携した高校生のインターンシップを県立工業高校等で実施

インターンシップ：勤労観・職業観の育成を目的に3日間程度の就業体験

デュアルシステム：実践的な職業知識や技術・技能の習得を目的に10日間程度の現場実習

○県立塩沢商工高等学校への建設系選択授業の導入

建設系選択科目を追加（H26年度入学生の2年生から）

建設業協会と連携し、建設系の実習を追加（H26年度入学生の2年生から）

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## (富山県)

### 1 県の土木系職員の新規採用に向けた取組

- ①「富山県職員志望者向け少人数(駄7人/回)説明会」の開催(随時開催)  
(県政概要説明、庁内ウォッチング、若手職員とのフリートークなど)  
H25年度 参加合計196名
- ②「富山県庁セミナー IN TOKYO・OSAKA」  
(県政概要説明、現職員とのグループトークなど)  
H25年度 参加61名合計
- ③ 出身大学への勧誘活動

### 2 広報PR活動(建設業の意義や魅力のPR)

- ・建設業協会が主催する高校生対象の現場見学会への協力
- ・小冊子「とやまの土木」の配布(2500部作成)
- ・観光情報誌「ロカルちゃ富山」の土木構造物編の新規作成・配布(3万部作成)

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## (石川県)

### ○社会保険未加入対策

経営事項審査と許可申請時等に加入指導を行い、社会保険加入を入札参加資格要件とした。

#### ①経営事項審査

- ・社会保険未加入業者に対する減点幅を拡大（H24.7.1 施行）
- ・社会保険未加入業者に対して指導（H24.11.1 施行）

#### ②建設業許可

- ・許可申請時に保険加入状況の確認・指導（H24.11.1 施行）  
（加入状況の確認・指導（4ヶ月、再指導2ヶ月）、各社会保険の所管機関への通報を実施）

#### ③入札参加資格

- ・平成25・26年度競争入札参加資格申請から社会保険の加入を要件に追加

### ○労務単価の設定

労務単価の適切な設定と関係団体への要請などを通じて、労働環境改善を図る。

- ・H25.4に12.9%、さらにH26.2に6.8%の通算20.6%引き上げ

### ○県の広報活動

将来の担い手である学生を対象に、PR活動を実施している。

- ・大学まで出向き、公共事業の役割や重要性についての講義を実施
- ・一般的に首長等が揮毫する橋名板を、地域の児童から募集した優秀作品から作成
- ・学生を対象に行った現場見学会のH25実績は、15回で約850名の参加者

### ○地域人づくり事業

- ・若年労働者の雇用拡大、賃上げ、定着率向上など技能労働者の処遇改善を図る。

### ○関係団体との連携

建設業のイメージアップを図り、中長期的な人材確保へとつなげる。

- ・石川県建設産業担い手対策連絡会を設置し、建設業協会ほか関係機関と連携

#### 【これまでの取り組み事例】

- ・女性建設技術者による職場環境の改善などを協議する意見交換会の開催（H26.8.12）
- ・北陸新幹線開業PRキャラクターのイラストなどが入った工事看板の設置

#### 【今後の予定】

（石川県建設業協会の策定した『いしかわの地域を支える建設産業ビジョン』に呼応）

- ・子供向けイベント「はだしの王国」での土木ブースの設置
- ・工業高校生との意見交換会
- ・生徒の保護者との懇談会
- ・各種イベントへの参加（重機試乗、測量体験等）など

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## (新潟市)

### ○広報活動

- ・専用サイト「職員採用試験インフォメーションサイト」を立ち上げ、職員採用試験に関する情報を分かりやすく提供している。
- ・パンフレット「職員採用試験総合案内」を作成し、区役所・出張所のほか、大学等にも配布している。

### ○現場見学会

- ・新潟駅周辺整備事業、長大橋梁工事等の現場において、学生向け現場見学会を延べ7回、270名に対し実施。(予定を含む)

### ○学校訪問、講義

- ・市職員が高校へ出向き、新潟駅周辺整備事業について講義する。(予定)

### ○インターンシップ

- ・建設系大学生、高校生を12名、受け入れている。

### ○採用説明会

- ・3月に市主催の採用説明会を開催。採用試験の説明、職種別個別説明・個別相談等を実施した。

### ○他団体主催の説明会への参加

- ・にいがたYOU ターン就職フェア(東京)、大学・専門学校等主催の就職説明会へ参加した。

## 担い手確保に向けた既往の取組み状況

### ( (一社) 日本建設業連合会 北陸支部)

#### 1. 採用に向けた取組み

- ① 日建連会員は、技術系女性社員の比率を5年間で倍増、10年間で10%程度に引き上げることを目指し、土木系、建築系などあらゆる職種で、意欲ある女性を積極的に採用することを今年の8月に決意しております。

#### 2. 担い手確保・育成に向けた取組み

##### ① 日建連会員が取り組んでいる事項

- ・昨年7月に「労務賃金改善等推進要綱」を策定し、適切な労務賃金が支払われるよう下請け企業に対する要請など技能労働者の処遇改善に取り組んでおります。

また、今年の4月には、建設技能労働者を確保・育成するために新たな提言をまとめ、重層下請け構造の改善、労働時間・労働環境の改善や若い世代の入職に向け、建設技能労働者の平均年収が全産業平均並みの額となるよう取り組み目標を掲げております。

##### ② 支部活動として取り組んでいる事項

- ・毎年、小学生の高学年を対象に保護者と参加いただく「親子工事見学会」を開催しております。今年度も夏休み期間中の8月19日、21日に実施しております。
- ・これからを担う学生に参加いただく、工事見学会を開催しており、今年度は「市民現場見学会」として、10月9日に新潟大学と長岡技大の学生を対象に「新潟駅連続立体交差事業」と「奥胎内ダム」の見学を予定しております。
- ・支部で発行している広報誌に「建設業界で活躍している女性」を紹介しております。

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## ( (一社) 新潟県建設業協会 )

### 1. 来年度採用に向けた取り組み

未就業者に対する就職合同説明会の開催

- ・失業者及び未内定（高校・大学等の最終年度秋以降未内定等）の学生に対し、建設業への入職促進を図る目的で、建設分野の企業との就職合同説明会を実施

なお、案内告知については、県内ハローワーク、県内大学・専門学校等の就職指導担当、市町村等の行政機関との連携を図り、併せて求人サイト・雑誌を活用することにより周知に努める。

#### 【事業内容】

- ①開催期日… 平成26年11月上～中旬
- ②開催場所… 新潟・長岡会場（2回）

### 2. 上記以外の取り組み

今年度からの新たな取り組み

#### (1) メンタルヘルス講習会等の実施

- ・若年建設業従事者の健康管理の向上を図り、定着促進することを目的に雇用管理者を対象に建設業に特化した講習会を実施

#### 【実施内容】

平成26年9月29日 13:30～16:00 上越市市民プラザ

平成26年9月30日 9:30～12:00 ハイブ長岡

平成26年9月30日 14:30～17:00 新潟県建設会館

- ・メンタルヘルス不調の予防、不調者の職場復帰などのメンタルヘルス対策全般に関して、希望する会員会社にメンタルヘルス対策相談員を派遣

#### (2) 若年建設従事者フォローアップ研修の実施

- ・若年建設業従事者の社会人としての自覚・気付き・やる気の再認識及び仕事に対する意識・意欲の向上を目的として、若年建設業従事者を対象に研修会を実施

#### (3) 現場見学・技術向上研修会の実施

- ・若手建設業従事者の技術、技能及び現場管理能力等の向上を目的として、若手建設従事者を対象に工事現場見学と技術研修を開催

#### 【実施内容】

平成26年10月21日 下越地区 午前中に技術研修、午後現場見学

平成26年10月22日 中越地区 午前中に技術研修、午後現場見学

平成26年10月23日 上越地区 午前中に技術研修、午後現場見学

#### (4) 技能資格取得促進事業の実施

- ・若手技能労働者を対象に、技能資格取得のための技能講習受講等を支援

##### 【事業内容】 受講料の全額補助

①目標参加… 50人

②技能資格… 足場組立、地山掘削、木造建築組立、鉄骨組立  
型枠支保工組立、コンクリート工作物解体

#### (5) コーチングスキル向上研修事業の実施

- ・若年建設業従事者への効果的な指導・育成手法を習得することを目的として、現場所長クラスを対象にコーチングスキル講習会を開催

##### 【事業内容】

①開催時期… 平成27年1月

②開催場所… 新潟・長岡・上越会場（3回）

従来から継続している取り組み

#### (1) 教育関係機関との懇談会

- ・若年労働者の入職促進を図るため、教育機関等と当会による懇談会を実施
- ・高校側の出席者を校長と担当教諭に1年毎に替えて実施（H26は担当教諭）  
出席者 建設系高校8校

【新潟工業・新発田南・新津工業・新潟県央工業・加茂農林・  
塩沢商工・上越総合技術・高田農業】  
新潟県、新潟労働局、当会

#### (2) 建設系高校生の現場見学会の実施

- ・建設産業の社会的役割について理解を深めてもらうため、建設現場の見学会を実施
- ・建設系高校を年4校ずつ実施

6月20日 新潟県央工業高校 建設工学科2・3年生 62名

⇒八十里越建設現場、「パティオにいがた」他

10月28日 上越総合技術高校

11月予定 新潟工業、新津工業

#### (3) 高校生のインターシップ・デュアルシステムの実施

- ・新潟県教育庁からの受入依頼を当該支部で受入企業を調整のうえ実施

##### ○インターシップ

・参加生徒数 67名（県内建設系高等学校 5校）

・受入企業数 23社

・実施期間 7月～8月の間の2～3日間

##### ○デュアルシステム

・参加生徒数 5名（県内建設系高等学校 2校）

・受入企業数 3社

- ・実施期間 7月～8月の間の10日間
- ・実習内容 測量の実習・配筋の実習等

(4) ポスター等の作成・配布

- ・「建設写真コンテスト」の優秀作品を活用し、若年労働者の入職促進のためのイメージアップポスターを作成し、高等学校・大学、市町村、ハローワーク、関連団体等に配布

(5) 他機関の取り組みに協力

- ・新潟県義務教育課制作の小・中学校向けのキャリア教育DVDに協力
- ・他機関主催の現場見学会等に協会が推薦した会員などが協力

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## ( (一社) 富山県建設業協会 )

### 担い手確保・育成の取組

#### ①現場見学会

県内の土木・建築系の高校（4校6学科）の学生を対象として、施工現場の見学会を実施している。

（H25実績 土木系 133名 建築系 79名）

#### ②県内民放TV コマーシャル放映

H22年度から継続事業（15秒及び30秒CM）

本年度においても、放映を予定している。

（H25年度実績（H25.12～H26.2） 15秒CM 延 149本 放映）

#### ③公共交通施設等へのポスター掲出

県内のJR・富山地鉄 駅舎にポスター掲出 37駅

県内の公共交通車両 車内広告

JR：155両 富山地鉄：218両 ライトレール：7両

万葉線：12両 加越能バス：70両 計462両

期間 26年3月11日～4月13日

#### ④建設業人材確保・育成事業

協会と会員企業（15社）が共同体を組織し、富山県から本年7月に本事業を受託している。事業は、失業者を共同体の企業が臨時雇用し、概ね1年間の訓練等の実施を行い、正規雇用に結びつけるものである。

現在、会員企業が臨時雇用のために、ハローワークに求人募集を行っている状況である。

#### ⑤入職用DVD作成

本年度の作成（約20分）に向け検討・準備を行っている。

視聴の対象を学生向けとして、該当学校に配付を予定している。

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## ( (一社) 石川県建設業協会)

### 1. 若年建設従事者の担い手確保及び育成に関する取組み

#### ①建設系工業高校生に対すアンケート調査の実施

- ・工業系高校3校、135名(土木系63名、建築系72名)を対象に意識調査を実施。
- ・意識調査内容は、進学理由、建設業の魅力、建設現場を見て感じる事、卒業後の進路、建設業に就職しない理由、どんな職種に興味があるか、就職先を決める理由、就職先に対する家族の意向、建設業について知りたい情報などについてアンケート。

#### ②当建設業協会と地元工業高校生との意見交換会の実施

- ・H25年度 → 工業系高校(3校:101名参加)
- ・H26年度 → 工業系高校(3校)
- ・高校生に建設業の現状を理解してもらうこと、高校生が実際の仕事をどのように感じ、不安に思っているか、会社に対してどのようなことを期待しているかなどについて、意見交換会を実施。
- ・協会からは、建設産業(公共事業)の役割・使命、建設技術者の仕事内容、会社に入ってからライフサイクル、建設産業のIT化の現状をプレゼンテーション。

#### ③高校生の保護者との意見交換会の実施

- ・生徒の進路決定に影響を持つ保護者に建設業界のことを知ってもらう目的で実施。
- ・工業系高校の土木課1年、2年生の保護者と意見交換会。

#### ④建設工事現場見学会の実施

- ・H25年度 → 工業系高校(3校)15現場、181名参加
- ・H26年度 → 工業系高校(4校)、高専(1校)、大学(1校)

#### ⑤現場実習(インターシップ)の実施

- ・H25年度 → 工業系高校(3校:75名参加、受入企業等延べ45社)
- ・H26年度 → 工業系高校(3校)

#### ⑥工業系高校生の派遣研修の実施

- ・資格取得のため、工業系高校生の富士教育訓練センターへの派遣。
- ・H25年度 → 3校30名参加

#### ⑦小中学校へのものづくり教育の実施

- ・小学校のバザー等に建設ブースを設置し、ものづくり教育を実施。  
(建設機械の展示、測量体験コーナーを開設)

### 2. 女性技術者の担い手確保及び育成に関する取組み

#### ①官民合同の女性建設技術者との意見交換会の実施

- ・参加者 国2名(監督職員)、県4名(土木・建築技術者)、民間企業5名(土木・建築技術者)
- ・建設現場で働いている女性技術者に現状の問題点や建設産業のイメージアップ、職場環境の改善などもっと女性が活躍できる建設産業を目指すことを目的に実施。

### 3. 今後の担い手確保及び育成に関する取り組み予定

①上述の1、2に示す内容の拡充を図る。

#### ②建設従事者の処遇改善

・改正品確法に則り、ダンピングを防止し、適正な価格で契約するよう働きかける。また、適切な賃金の支払いや社会保険への加入などの処遇改善を図り、担い手の確保に努める。

#### ③労働環境（休日など）の改善

・担い手を継続して確保できるよう、業務の効率化や残業対策を行うとともに、女性の現場環境やメンタルヘルス対応の向上など労働環境の改善を図る。

#### ④学校連携事業の強化

・高校、専門学校、大学からの安定的な入職を獲得するため、学校との連携事業を強化する。

#### ⑤土木・建築など技術者養成の資格支援制度の充実

・一級土木施工管理技士や一級建築士、測量士など技術者を養成する資格支援制度の充実を図る。

#### ⑥能登地区の高等学校に建設系学科の新設を県に要望

・建設系の学科が少ない能登地区の高校に、建設系学科の新設を県に要望する。

# 担い手確保に向けた既往の取組み状況

## ( (一社) 建設コンサルタツツ協会 北陸支部)

### 1. 広報活動について

- ・平成24年度作成した「大学生向け建コンPR冊子」を活用し、平成24年度から北陸支部管内の工学系9大学11学部の学生に配布及び説明会の実施について、担当教授に説明し、配布と説明会を依頼し、現在も継続して実施しています。
- ・平成26年度において、上記「PR冊子」を活用した広報の第2弾として、高校生を対象とした動画による建設コンサルタントPR版「PRビデオ」を、10月中旬をめどに作成中です。
- ・一般市民を対象とした「防災フェスタ」や「水害シンポジウム」でブースを出展。協会の災害での活動状況や仕事内容が簡単にわかるパネルを展示して協会の役割を認識して頂いています。

### 2. 技術講習会開催について

- ・北陸支部技術部会橋梁委員会において、長岡技術科学大学と共催して橋梁技術講習会を実施し、学生からの参加を頂いています。今年度は10月8日に同様な開催を予定しています。

### 3. 出前講座実施について

- ・新潟大学農学部からの出前講座の依頼を受け、平成24年度及び25年度実施しています。
- ・平成16年度より社会貢献活動の一環として、当支部管内の小中学校を対象として「環境」等身近なテーマで実験を行いながら講義を実施しています。
- ・なお、出前講座実施後、この講演をきっかけに児童がどのような活動を行なったのか、総合的な学習の成果について担当教諭から当支部会誌「雪の音」に投稿を頂きました。
- ・平成26年度の新たな取り組みとして、新潟県立新潟工業高等学校の依頼を受け、土木科2年生を対象に道路設計の基礎留意点や設計・解析の新しい技術に関する出前講座を10月17日に実施する予定です。これは、授業における道路設計演習を補完するもので、道路設計に対するより深い理解の醸成が期待されています。

### 4. 学生講演等について

- ・建コン協北陸支部主催の「業務・研究発表会」において、昨年は新潟大学から審査員をお願いし、新潟大学及び長岡技術科学大学の学生から学生講演を頂きました。
- ・今年の「業務・研究発表会」においては、富山県立大学から審査員をお願いし、金沢大学及び富山県立大学の学生から学生講演を頂きました。
- ・この「業務・研究発表会」開催に際し、上記北陸支部管内工学系9大学11学部へ開催の案内も行っています。
- ・また、昨年、12月15日に建コン協北陸支部主催「防災講演会」の開催に際しても、同様に、上記北陸支部管内工学系9大学11学部へ開催の案内も行っています。

### 5. 社会貢献活動について

- ・平成25年度は、一般市民の小学生の親子を対象に施設管理者等行政機関及び新潟日報社から後援を頂き、信濃川の萬代橋と八千代橋間の公共用施設を、それぞれの施設管理者から施設の説明を受ける「親子で見学会」を実施しました。
- ・平成26年度は、昨年と同様に施設管理者である行政機関とNPO水辺の会の後援を頂き、一般市民小学生親子を対象とした「親子で見学会」を10月4日に開催する予定です。

## 担い手確保に向けた既往の取り組み状況

### (一社) 新潟県測量設計業協会

1 来年度採用に向けた取り組み  
なし(代表的な会員会社の例)

2 上記以外の取り組み  
これまで協会として取り組んできたものは、以下のとおり。

今後、

- ① インターンシップ等は、会員の理解を深めて、積極的に学校に働きかけ、受け入れ生徒の増に努めたい。
- ② 土木フェア等参加については、これまで参画地域が偏っていたと考えるので、他の県地域振興局にも働きかけながら、参画地域を増やしたい。
- ③ 「測量の日」懸垂幕掲出事業は、県内全域まで終わっていないので、未実施地域の解消を図り、県内全域の掲示を目指す。
- ④ 小・中学校で出前講座を開催し、普及啓発に努めたい。

#### ○インターンシップ・デュアルシステム受け入れ

平成19年度～26年度	新発田市立第一中学校	各年2名	1社
平成21年度	新潟工業高校、上越総合技術高校	8名	8社
平成22年度	新潟工業高校⑨、上越総合技術高校①	10名	5社
平成23年度	新潟工業高校⑨、上越総合技術高校③	12名	8社
平成24年度	新潟工業高校⑩、上越総合技術高校②、 新発田南高校④	16名	10社
平成25年度	新潟工業高校⑨、上越総合技術高校⑥、 新発田南高校②、高田農業高校②	19名	12社
平成26年度	新潟工業高校⑩、上越総合技術高校②、 新発田南高校④、ものづくり大学①	17名	9社
	合計	98名	

#### ○土木フェア等参加状況

平成16年度	2地区	(南魚沼、十日町)
平成17年度	2地区	(南魚沼、十日町)
平成18年度	2地区	(南魚沼、十日町)
平成19年度	2地区	(南魚沼、十日町)
平成20年度	3地区	(南魚沼、十日町、佐渡)

平成21年度 3地区 (南魚沼、十日町、佐渡)  
平成22年度 2地区 (南魚沼、十日町)  
平成23年度 新潟・福島豪雨により中止  
平成24年度 3地区 (魚沼、南魚沼、十日町)  
平成25年度 1地区 (十日町) 台風8号災害により  
平成26年度 3地区 (魚沼、南魚沼、十日町) 予定

平成26年5月25日 阿賀野川水防演習 阿賀野市  
平成26年8月24日 7.13水害10周年シンポジウム 三条市

#### ○「測量の日」関連行事

平成20年8月1～4日 マップフェア in みつけ  
平成20年10月18日 地籍フェア in 新潟 (新潟ふるさと村)  
平成20年10月31日 地籍フェア in 新潟 (朱鷺メッセ)

#### ○「測量の日」懸垂幕掲出事業

新潟県の後援を得て、県地域振興局庁舎に懸垂幕を順次掲出している。

平成24年度 村上、新発田、新潟地区新津、新潟地区津川 5地区  
平成25年度 上越、上越地区安塚、上越地区妙高、糸魚川 4地区  
平成27年度 三条、長岡、魚沼、南魚沼、柏崎、佐渡 6地区 予定

#### ○測量教室開催

平成18年6月1日 新潟市立青山小学校 北陸地方測量部次長

#### ○地図展

平成16年11月19～23日

「アメリカ伊能大図」里帰りフロア展 県立自然科学館

平成19年10月18日

剣岳測量100年記念「地図展2007in富山」富山県民会館

平成22年8月12～16日「伊能大図の上を歩こう」

完全復元 伊能小・中・大図フロア展 in 新潟 東総合スポーツセンター

## 担い手確保に向けた既往の取組み状況

### （（一社）富山県測量設計業協会）

当協会では、平成元年から毎年、県内の小学校の子どもたちに、地図と測量に関心を持ってもらうために、5、6年生を対象にした「地図教室」と「測量実習」を開催している。

当協会主催の設計技術研修会を官学産連携と位置づけ、県及び大学等の講師による講演と協会の事例報告などを行っている。

今までの受講者は、当協会の社員と県職員等の建設技術関係者であったが、今年度からは、富山県立大学の学生にも受講機会を与えることとした。

## 担い手確保に向けた既往の取組み状況

### ( (一社) 石川県測量設計業協会 )

#### [1] 建設界への担い手確保・育成に向けた取組み

##### ○工業系・農業系高等学校関係

###### ・インターンシップ事業

：学校からの要請として、協会員3社で学生6～9人を受入実施している。

###### ・石川県高等学校ものづくりコンテスト

：工業系3校が競技、講師2人を派遣している。

###### ・石川県高等学校農業クラブ連盟大会講師派遣

：農業系2校が競技、講師1人を派遣している。

###### ・石川県高等学校測量技術コンテスト講師派遣

：工業系、農業系の5校が競技、講師5人を派遣している。

###### ・高等学校優秀生徒会長表彰

：工業系3校、農業系2校の5校から各校1名の推薦者を表彰している。

##### ○その他

・測量の日関連事業で小学生と「緯度経度と日本の測量」授業を実施している。

：金沢市内小学校5年生100人程度対象に実施している。